



大きな感嘆と愛情が込められた映画 — 他への何よりも豊穡な劇場体験だ。

(ニューヨーク・タイムズ評)

昭和54年、京都・太秦の撮影所に本格的な舞台セットを作り上げて撮影された、映画版「冥途の飛脚」。

昭和を代表する偉大な文楽の名人たちの至芸が、デジタルリマスター版でスクリーンに甦る！

監督は日本文化に深い造詣と共感を持つマーティン・スコセッス(カナダ)。音響・音楽監修は武満徹。撮影は海外でも評価の高い名カメラマン岡崎宏三ほかを起用して、世界でも類を見ない精緻な形式と美しさを誇る、文楽の魅力に正面から挑んだ傑作。

作品について

梅川 忠兵衛、主人公二人の通り名も有名な、近松門左衛門作の人形浄瑠璃「冥途の飛脚」は、実話を題材にして創作された上中下3巻の世話物。1711年(正徳元年)に大坂 竹本座で初演された。

現在では下巻の「新口村」は、後世の改作「恋飛脚大和往来」を用いて単独で上演されることも多い。本作は上中二巻を近松の原作に、下巻を「恋飛脚大和往来」に拠って、編集で約1時間半に物語を凝縮している。

淡路町の段

忠兵衛は大坂淡路町の飛脚問屋・亀屋の跡継ぎ・養子。新町の遊女梅川と惚れあった仲である。梅川が他の家に身請けされそうになったため、友人の八右衛門の五十両を無断で借りて身請けする手付金にしてしまっていた。問い詰められた忠兵衛は、八右衛門の友情にすがって母を欺き、その場を切り抜ける。そこに届いた公金三百両を届ける用事を頼まれた忠兵衛は、梅川のことを気になって届け先ではなく新町に足を向ける(羽織落し)。

封印切の段

新川の越後屋では、梅川が忠兵衛を待ち焦がれている。そこに八右衛門がやって来て、遊女たちに先ほどの忠兵衛の一件を話し、扉に彼を近づけるなどと言う。忠兵衛は門口でこの話を聞いてかたとなり、持っていた公金の封を切って五十両を八右衛門に投げつけ(封印切)、さらには養子に来た時の持参金と偽って、梅川の身請けの後金に使ってしまう。身請けした梅川に全てを打ち明けた忠兵衛は、二人一緒に逃げようと、忠兵衛の生まれ故郷の大和新口村に向かう。

新口村の段

「恋飛脚大和往来」より、
新口村まで辿り着いた忠兵衛と梅川だが、村には既に詮議の手がまわっている。幼なじみの忠三郎の家に身を寄せた二人が雪の降る外を窺うと、忠兵衛の父・孫右衛門が杖をついて通りかかき、足をすべらせ転んでしまう。梅川はたまたらず外に飛び出して介抱し、やがて孫右衛門はすべてを悟る。親の情を語る孫右衛門に梅川は忠兵衛を会わせようとするのだが、

淡路町の段

太夫 竹本織太夫(九世 竹本源太夫)
三味線 鶴澤燕三(五世)

封印切の段

太夫 竹本越路太夫(四世)
三味線 鶴澤清治

新口村の段

太夫 竹本文字太夫(七世 竹本住太夫)
三味線 野澤錦糸(四世)

人形

忠兵衛 吉田玉男(初代)
梅川 吉田策助(三世)

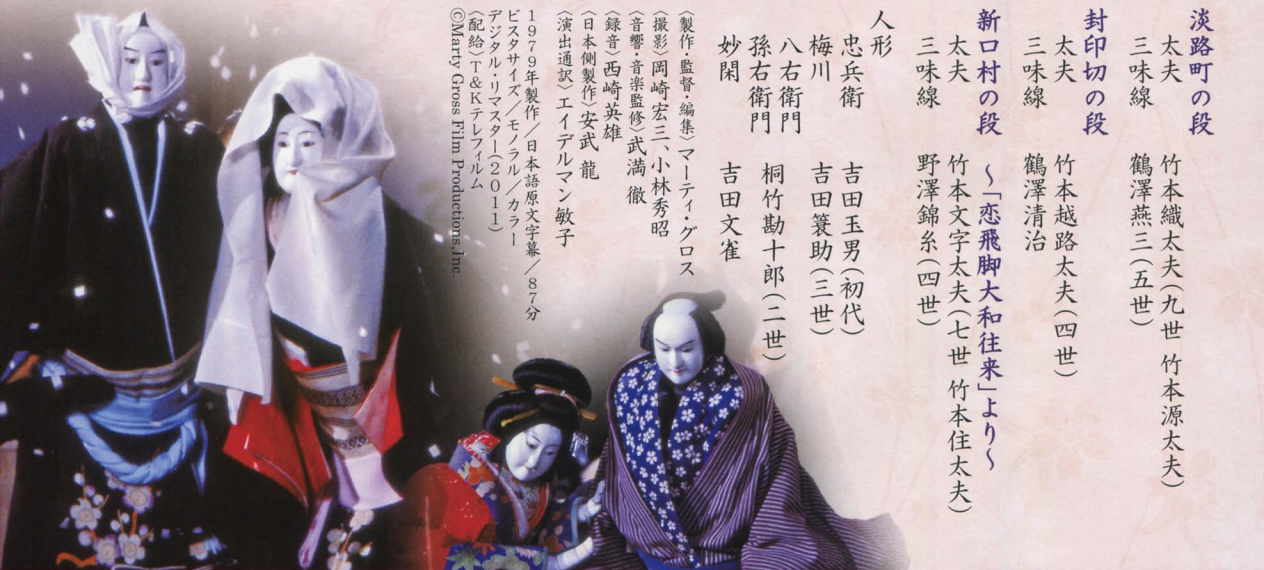
八右衛門 桐竹勘十郎(二世)
孫右衛門 吉田文雀

妙閑

《製作監督・編集》マーティン・スコセッス
《撮影》岡崎宏三、小林秀昭
《音響・音楽監修》武満徹
《録音》西崎英雄
《日本側製作》安武 龍

《演出通訳》エイテルマン 敏子
《1979年製作/日本語原文字幕/87分
ビスタサイズ/モノラル/カラー
デジタルリマスター(2011)
《配給》T&Kテレフィルム

©Many Gross Film Productions, Inc.



文楽シネマ「冥途の飛脚」

日時 2022年10月17日(月)

①10:30 ②14:00 開場は各回30分前

会場 メイシアター中ホール

入場料(全席自由席) 前売2500円 当日3000円

本上映会は、新型コロナウイルス感染予防策を講じて開催いたします。

※お客様用の駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

※感染予防対策のため、ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。

(主催) (公財) 吹田市文化振興事業団 ☎06-6386-6333

◆チケット発売所

・メイシアタープレイガイド 06-6386-6333(9:00~18:30)
メイシアター・メイト会員様のみお電話でご予約いただけます。
メイシアターインターネット予約(24時間受付可能)

<http://www.maytheater.jp/>

・TNKツアーリスト(JR吹田駅前吹田さんくす1番館2階)

・ローソンチケット Lコード:55188

◆チケット発売日

7月6日(水)

未就学児の入場はご遠慮ください。

※メイシアター・メイトは1割引き(2枚まで)

※前売券発売の際、当日券の販売はございません。